

4 総合子ども学科 4年次

	講 義 名	開講時期・単位数	
		前 期	後 期
必 修 科 目	教育実習指導Ⅱ	1	
	ゼミナールⅡ	1	
	卒業研究		6
選 択 科 目	保育産業論	1	
	児童ケースワーク		1
	おもちゃ論		1
	体育心理学	1	
	応用ピアノⅠ	1	
	応用ピアノⅡ		1
	絵本論		1
	絵本創作		1
	紙芝居		1
	劇遊び		1
	手話Ⅰ	1	
	手話Ⅱ		1
	レクリエーション実技		1
	レクリエーション種目の実技		1
	クラスルームⅣ a・Ⅳ b	1	1
	併修学習Ⅳ a・Ⅳ b	1	1
実 習	保育実習Ⅰ-1		2
	保育実習Ⅰ-2		2
	保育実習Ⅱ		2
	教育実習		4
合 計 単 位 数		8	28
		36	

科 目	教育実習指導Ⅱ	講 師	中西 和子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育実習に対する事前学習として、実習目標を明確にする。 ・実習生としての自覚・心構えを体得する。 ・幼稚園の実際の理解を深め、記録方法を学ぶ。 ・各授業の学習結果を実践の場で活用できるよう、総合的な力を養成する。 ・事後学習として、実習を振り返り、幼稚園教諭としての自覚を高める。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 個人票作成 2. 幼稚園教育実習の意義と目的 3. 幼稚園の生活(1) 環境 4. 幼稚園の生活(2) 子どもの活動 5. 実習課題・研究テーマの設定 6. オリエンテーションについて 7. 教育実習日誌の書き方演習(1) 観察記録の基本学習 8. 教育実習日誌の書き方演習(2) 環境設定・保育者のねらい・配慮の理解 9. 指導計画の立案(1) 1日の活動 10. 指導計画の立案(2) 手遊び・絵本・紙芝居を中心として 11. 指導計画の立案(3) ゲーム・製作活動を中心として 12. 実習の振り返り 13. 実習後面談 14. 実習報告準備 15. 実習報告 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『フォトランゲージで学ぶ 子どもの育ちと実習日誌・指導計画』萌文書林 参考書 ……授業内で配布したプリントはファイルにまとめておく		
評 価 の 方 法	出席状況（無断欠席不可）、授業態度、小テスト、提出物、発表、試験等による総合評価		

科 目	ゼミナールⅡ（ボーカルゼミ）	講 師	木下 裕子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なジャンルの楽曲（童謡・唱歌、Jポップ、ゴスペル、外国語曲等）を通して、保育指導に役立たせる音楽表現技術を各人が開発していきましょう。 ・「わらべうた」の演習・研究を行います。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション：わらべうたについて 2. 各自の興味ある楽曲のリサーチ 3. 各自の課題と共通課題の検討 4. 演習① 5. 演習② 6. 演習③ 7. 演習④ 8. 演習⑤ 9. 演習⑥ 10. 演習⑦ 11. 演習⑧ 12. 演習⑨ 13. 個別発表及びコンサートの進行表作成 14. 共同発表（ライブコンサート形式） 15. 振り返りとまとめ（レポート作成） 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席状態、個別発表、共同発表、レポートによる総合評価		

科 目	ゼミナールⅡ（福祉ゼミ）	講 師	熊崎 有香
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・興味・関心があるテーマについて調べ、情報共有し、幅広い知識を身につける ・調査方法を話し合い、自発的学習に繋げていく ・施設見学、ゲストスピーカーからの講義を設け、福祉現場の現状理解を深める ・学びの成果をレポートとしてまとめる 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. テーマ決め① 2. テーマ決め② 3. テーマに対する調査方法の検討・スケジュール立て 4. 調査 5. 調査 6. 調査 7. 進捗状況報告 8. 調査 9. 調査 10. 調査 11. 調査 12. レポート作成① 13. レポート作成② 14. レポート作成③ 15. レポート発表 <p>施設見学もしくはゲストスピーカーによる講義を入れる</p>		
教科書 及び 参考書	教科書……特になし 参考書……特になし		
評価の 方 法	出欠席、受講態度、まとめのレポートによる総合評価		

科 目	ゼミナールⅡ (world dance seminar)	講 師	中村 悦子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の中のDANCE ・自分の体を知る。 ・振付してみよう！発表してみよう！ ・ゼミの中のディズニーランド 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション（授業の進め方や授業態度） 2. } 前期のまとめ 3. } 4. } 5. } 6. } 7. } オリジナル 振付 8. } ※ダンスサークルとのコラボを含める 9. } 10. } 11. } 12. } 13. } 作品製作（衣裳や小物） 14. } 15. 作品発表 		
教科書 及び 参考書	教科書……特に指定なし 参考書……特に指定なし		
評価の 方 法	授業態度、出欠席、実技作品の評価		

科 目	ゼミナールⅡ（造形ゼミ）	講 師	なかむら しんいちろう
授業目標	<p>ゼミナールⅠの内容を踏まえ保育造形に関するテーマを選び研究・課題制作を行う。そして作品を完成させ模造紙にまとめるなど展示準備を整えてチャイルド祭にて発表、その記録を提出する。テーマは将来の現場指導に活かす内容とする。</p> <p>また造形分野に秀でた保育者を目指し、その造形力を向上させるような真摯な態度で研究する。</p> <p>*制作に必要な全材料は自己で負担し準備する。</p> <p>展覧会見学等で様々な美術に触れ訪問記録を提出する。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前提講義「造形」についての研究テーマを考察。十分な調べ学習を行う。引き続きゼミⅠの制作。 2. 研究テーマ案の発表と検討。講師によるテーマのチェック（個別） 3. 研究テーマの再案の発表と再検討。テーマ決定。計画立案。 4. 制作1：各自、研究テーマについて、スケジュールに従って確実に進行。 5. 制作2：制作進行、中間チェック 6. 展示準備1：チャイルド祭での壁面展示等に向けた準備。作品の仕上げ 7. 展示準備2：作品展示の模造紙準備 8. 展示準備3：展示壁面の制作 9. 制作3：チャイルド祭後の研究テーマの検討、制作スケジュールの立案（個別相談） 10. 制作4：制作進行 11. 制作5：中間発表（全体）進行状況の確認と相談。スケジュールの調整。 12. 制作6：仕上げと研究発表に向けた準備。 13. 制作7：B5ファイルに各自まとめる。 14. 制作8：研究テーマの発表。 15. まとめと総評。 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特に指定なし</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評 価 の 方 法	<p>総合的評価。特に授業態度を重視（毎回の授業内での作品の完成度。制作に対する意欲と真摯な制作姿勢、まとめファイル、適切な片付け、出席状況）</p>		

科 目	保育産業論	講 師	望月 恭子
授業目標	<p>少子高齢化、格差社会、出産年齢の上昇、保育園の不足、メディアの多様化…めまぐるしく変わる社会や経済の動きを見据えながら、子どもを中心とする家族に関わる産業について、マーケティングの観点から切り込み、その実態を知り、理解を深めていく。また消費社会を生きる私たちにとって、必要な情報とは何か、どう捉えていくのかを探っていく。</p> <p>衣・食・住・教育・玩具・文化・メディアなど、様々なジャンルから、毎回具体的なテーマを選択し、時に実践を交えながら、最新データを基に、トレンドを掴み、その構造と課題を掘り下げていく。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもに関わる産業とは何か～基本的な考え方 2. 広告の基本戦略と5大メディアが子ども産業に与える影響と役割 3. ユーザーニーズの捉え方とターゲットへのアプローチ、マーケティング分析の方法 4. 食の傾向と実態、日本が抱えている問題とは 5. 食のトレンドの方向性を探り、商品開発の方法を知る 6. ファッション市場の動向とメディアの関わり。親の意識の反映とは。かわいいの意味、子どもにとっての衣とは 7. 教育産業の実態①学校の現場で。受験産業と塾の役割 8. 教育産業の実態②親の期待と習い事について 9. 子どもと映像～テレビ、アニメ、映画など、実際に視聴しながら 10. キャラクターの持つ力とその意味 11. コマーシャルの意味と影響力。SNSをはじめ、インターネットの役割 12. 玩具・ゲームマーケットのトレンドと移り変わり 13. 環境をはじめとする新しい産業の台頭とグローバル化 14. キーワードに見る子ども産業の未来 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特に指定なし</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評 価 の 方 法	<p>出席及び試験による総合評価</p>		

科 目	児童ケースワーク	講 師	今泉 岳雄
授業目標	ケースワークとは、困難な課題、問題をもった者が主体的に生活できるように支援、援助していく個別の社会福祉援助技術のことである。ここでは保育現場で直面する児童やその家族の問題を事例を介して皆で話し合い、問題の把握、援助に必要な知識やスキル、保育者同士や保護者・他機関との連携を媒介とした解決への方向付けの仕方などについて学んでいきたい。		
授 業 の 画	1. オリエンテーション～児童ケースワークの進め方～ 2. 問題の把握とアセスメントと援助方法 3. 事例から考える（子どもの発達とストレス反応①） 4. 事例から考える（子どもの発達とストレス反応②） 5. 事例から考える（親子関係・家族関係―虐待・DV） 6. 事例から考える（保護者の心の健康度・子どもの発達障害） 7. 事例から考える（保育者・保護者・他機関との連携） 8. 自己覚知と自己のストレスマネジメント 9. ケース対応をカウンセリングの知識やスキルから考える① 10. ケース対応をカウンセリングの知識やスキルから考える② 11. 記録の取り方 12. グループ研究課題の提示とグループ活動① 13. グループ研究課題の提示とグループ活動② 14. グループ研究課題とグループ活動③ 15. まとめ		
教科書 及び 参考書	教科書……特に指定なし 資料配布 参考書……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席状況、受講態度、グループ活動、ディスカッション、レポート等による		

科 目	おもちゃ論	講 師	なかむら しんいちろう
授業目標	身近な保育材料を使って手作りおもちゃを数多く制作する。そして作り方及び使用の仕方を各自がまとめ、レポートに記述する。そして実際に遊び、その活用法を身につける。さらに実践する際の指導方法を考える。 またおもちゃが子どもに与える成長や発達の特徴を学ぶ。 *制作の進行状況を考慮し順序や内容を適宜変更する。		
授 業 の 画	1. 前提講義：子ども時代に遊んだ玩具を振り返り、リスト作成。おもちゃの歴史。 2. 「玩具」の意義。子どもにとって「おもちゃ」とは。レポート発表後、意見交換。 3. 「手作りおもちゃ」とは何か？これまで作った手作りおもちゃリスト制作。 4. 双六制作（マップとサイコロ）。ボードゲームの作り方、遊び方の解説書制作。 5. 風車制作（自然環境とおもちゃ）。伝統玩具とは。 6. 風車遊び。風車の作り方と遊び方の解説書制作。 7. ごっこ遊びのおもちゃ制作（折り紙による人形とドールハウス作り）。ままごと遊びとは。 8. 人形遊び。手作り人形の作り方と遊び方の解説書制作。 9. 知育玩具とは。発達段階とおもちゃの関係。 10. ブロックと積み木の違い。遊び方の解説書制作。 11. 音の出るおもちゃ制作（ガラガラ、太鼓、缶ぽっくり、ストロー笛など） 12. 音の出るおもちゃで演奏の練習。楽器おもちゃの作り方、演奏の仕方の解説書制作。 13. 様々な素材のコマ制作（ペットボトルのフタ、ドングリ、びゅんびゅんごまなど） 14. タングラム（三角パズル）遊び。 15. まとめ。		
教科書 及び 参考書	教科書……特に指定なし 参考書……特に指定なし		
評 価 の 方 法	総合的評価。特に授業態度を重視（毎回の授業内での作品の完成度。制作に対する意欲と真摯な制作姿勢、適切な片付け、出席状況）		

科 目	体育心理学	講 師	亀谷 正美
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児教育で活用できる体育心理学の知識を学ぶ。 ・ 動機づけについて学ぶ。 ・ 運動学習、練習についての知識を深める。 ・ リラクゼーションの重要性について。 ・ 集中力を高めるには。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション（授業のすすめ方） 2. 体育心理学とは 3. 運動の心理学的メカニズム 4. 動機づけ 5. 動機づけを高めるには 6. 体育の基礎としての心身の発達 7. 発達段階と体育指導 8. 体育における運動学習、練習 9. 人間形成としての体育 10. 体育における集団心理、リーダーシップ 11. イメージトレーニングとは何か 12. リラクゼーション 13. リラクゼーションの様々な技法を学ぶ 14. 試験 15. 集中力を高めるには 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	授業参加の仕方、レポートで評価		

科 目	応用ピアノ I	講 師	鈴木 真智子・山崎 洋子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ピアノを中心とした器楽の応用的な演奏技術を学ぶ。 ・ 子どものうたを大きな声で、楽しく弾き歌いできるようにする。 ・ 実習に向けての準備・レパートリー作り。 ・ 保育現場で子どもたちと生き生きと音楽表現を楽しめる力をつける。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各学生のレベルの把握と課題決定 2. 個人レッスン：実習に向けて、生活の歌や季節の歌を中心に。 3. 〃 : 〃 4. 〃 : 各実習園の課題が出たら練習に入りましょう。 5. 〃 : 〃 6. 〃 : 〃 7. 〃 : 〃 8. 〃 : 〃 9. 〃 10. 〃 11. 〃 12. 〃 13. 〃 14. 〃 : 実技試験発表曲の徹底練習 15. 実技試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……前年度に使用したもの及び担当講師の指定するもの 参考書 ……『始めよう！弾き歌い』		
評 価 の 方 法	受講態度、出席状況、実技試験による総合評価		

科 目	応用ピアノⅡ	講 師	鈴木 真智子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノを中心とした器楽の応用的な演奏技術を学ぶ。 ・子どものうたを大きな声で、楽しく弾き歌いできるようにする。 ・保育現場で子どもたちと生き生きと音楽表現を楽しめる力をつける。 ・採用試験に向けての課題演習。 		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各学生のレベルの把握と課題決定 2. 個人レッスン 3. 〃 4. 〃 5. 〃 6. 〃 7. 〃 8. 〃 9. 〃 10. 〃 11. 〃 12. 〃 13. 〃 14. 〃 : 実技試験発表曲の徹底練習 15. 実技試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……前年度に使用したもの及び担当講師の指定するもの 参考書 ……『始めよう！弾き歌い』		
評 価 の 方 法	受講態度、出席状況、実技試験による総合評価		

科 目	絵本論	講 師	横山 雅代
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の特性や奥深さを知り、子どもの豊かな発達をサポートする保育者としての力をつける。 ・子どもの発達段階に合わせた絵本表現、好奇心を大事にする絵本表現を理解する。 ・絵本を選ぶ力、読み合いで表現する力をつける。 ・読み合い、対話する中で、言葉でのコミュニケーション能力を高める。 		
授 業 の 画 計	<ol style="list-style-type: none"> 1. 絵本とは何か一紙しばいとの違いから学ぶ 2. 絵本とは何か一作り手の視点から 3. 子どもの発達と絵本—0、1、2歳児の絵本 4. 子どもの発達と絵本—3、4歳児の絵本 5. 子どもの発達と絵本—5、6歳児の絵本 6. 子どもの興味と絵本—自然、季節、行事等 7. 子どもの興味と絵本—食べ物等 8. 子どもの興味と絵本—家族、人間関係等 9. 子どもの興味と絵本—おばけ、ナンセンス等 10. 子どもの興味と絵本—自己肯定感等 11. 絵本の読み合いから学ぶ① 12. 絵本の読み合いから学ぶ② 13. 絵本の読み合いから学ぶ③ 14. 絵本の読み合いから学ぶ④ 15. まとめ 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……必要に応じて紹介する		
評 価 の 方 法	授業中の課題や発言、学期末のレポートによって、総合的に評価する		

科 目	手話Ⅱ	講 師	乙川 智子
授業目標	1. 手話の学習を通し、聴覚障害に関する理解を深める。 2. 手話を覚えて会話の楽しみを習得する。 3. 実際に覚えた手話で聴覚障害者との交流学习を体験し、コミュニケーション力を養う。 4. 聴覚障害に関する基礎知識を学び、またビデオ学習の中で不便さに気づき解決する為の方法を考察、意見交換等を行う。 5. まずは、体を、手を、頭を動かし楽しく勉強をしましょう！		
授 業 の 画 計	1. 〈技術〉前期の復習 1 家族、趣味 ※原則として手話Ⅰの履修者 2. 〃 2 住所、仕事 3. 〃 3 疑問文、時の表現等 4. 短文練習 1 5. 〃 2 6. 会話練習 1 テキストを活用して 7. 〃 2 テキストを活用して 8. 〃 3 テキストを活用して 9. 長文練習 1 10. 〃 2 11. 自分で考えた文章の表現練習 12. 聴覚障害者との交流 13. ビデオの活用、意見交換等 14. 試験 15. 試験のふりかえり、まとめ		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『手にことばを 初級編』東京都聴覚障害者連盟 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	受講態度、定期試験、レポート等による総合評価 ※手話Ⅰを学習した学生を対象とする。		

科 目	レクリエーション実技	講 師	小倉 恵子
授業目標	レクリエーション実技指導の方法、実技の取り上げ方、対象別に実技を通してゲームのルール・どう楽しませるかを修得して行きます。 幼児から高齢者など、様々な方々に通用する実技指導法・ホスピタリティを身につける方法・コミュニケーションの方法を具体的に体験し、修得できるように育てて行きます。		
授 業 の 画 計	1. レクリエーション実技指導について 2. レクリエーションゲームの取り上げ方 3. 自己主張・強調協力・ゲームの体験 4. コミュニケーションゲームの取り上げ方 5. 対象別レクリエーションゲームの取り上げ方 その1 6. 対象別レクリエーションゲームの取り上げ方 その2 7. ホスピタリティを身につける方法 8. コミュニケーション・ワークの展開法 9. コミュニケーション・ワークの指導法 10. コミュニケーション・ワークの実践 その1 11. コミュニケーション・ワークの実践 その2 12. フォークダンス・レクリエーションダンスの取り上げ方・指導法 その1 13. フォークダンス・レクリエーションダンスの取り上げ方・指導法 その2 14. ノートのまとめ その1 15. ノートのまとめ・提出 その2		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……『キャンプで使えるアウトドアゲーム集』		
評 価 の 方 法	出席率・ノート提出評価・授業態度の評価で行う		

科 目	併修学習Ⅳa（前期）・Ⅳb（後期）	講 師	中西 和子
授業目標	幼稚園教諭免許状取得に向けて、併修学習を促進する。		
授 業 の 画 計 画	（前期）1. オリエンテーション・学習計画作成 2. レポート・テスト学習① 3. 〃 ② 4. 〃 ③ 5. 〃 ④ 6. 〃 ⑤ 7. 〃 ⑥ 8. 〃 ⑦ 9. 〃 ⑧ 10. 〃 ⑨ 11. 〃 ⑩ 12. 〃 ⑪ 13. 〃 ⑫ 14. 〃 ⑬ 15. 〃 ⑭ （後期）1. オリエンテーション・学習計画作成 2. レポート・テスト学習① 3. 〃 ② 4. 〃 ③ 5. 〃 ④ 6. 〃 ⑤ 7. 〃 ⑥ 8. 〃 ⑦ 9. 〃 ⑧ 10. 〃 ⑨ 11. 〃 ⑩ 12. 〃 ⑪ 13. 〃 ⑫ 14. 〃 ⑬ 15. 〃 ⑭		
教科書 及び 参考書	教科書……併修指定テキスト 参考書……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席状況による評価		